

持続的な地域づくりのためのツーリズムを知る講演会

地域の自然と 共に歩む価値創造

富士山麓で42年続いている自然学校が
“自然”をベースにした事業を
成り立たせてきた方法とは

～ホールアース自然学校の自然教育：環境との共生から学ぶ～

日時

令和7年1月31日(金)

9:30～11:00

開場 9:00

会場

月山ビジターセンター

住所：鶴岡市羽黒町手向字羽黒山147-5

TEL 0235-62-4321



講師

どなたでもご参加いただけます(申込不要)

先着順

入場無料



山崎 宏 (やまざき ひろし) 氏

NPO法人ホールアース自然学校 代表理事

静岡県出身。幼少の頃より伊豆・箱根・富士山の自然を遊び場にして過ごす。学生時代より一貫して環境教育・エコツアー・里山保全分野に関わり続けている。

ホールアースでは、富士山麓での自然ガイドをベースに、企業の環境活動支援や行政が主催する環境系研修会の運営・講師などを多数担当。また、地域づくり、企業研修などへ活動の幅を広げつつ、近年は組織マネジメントにも力を注ぐ。2014年4月よりホールアース自然学校を構成する法人のひとつである「NPO 法人ホールアース研究所」(現「NPO 法人ホールアース自然学校」)の代表理事を務める(現在に至る)。



ホールアース自然学校

1982年設立、人と自然、地域を繋ぐことを生業とする自然学校。全国に拠点をもち、年間約50種類の無農薬野菜を育てる農場やジビエ解体施設を運営し、自然ガイドや地域づくり支援等を行っています。

当講演会は環境省「令和6年度自然を活かす上質なツーリズム人材育成・地域づくり支援事業」の一環で同事業の講師現地派遣制度を活用して開催するものです。

上質なツーリズムとは(環境省提唱)

地域社会の持続的発展を目的として、地域の自然環境を基盤に、暮らし・歴史・文化を含む地域固有の価値に基づいた、来訪者が高い満足感を得られる「感動」や「学び」の機会を、地域の様々な主体が協働して提供し、ひいては自然環境の保全や環境意識の向上に寄与する観光のあり方。

主催

月山ビジターセンター運営協議会

お問い合わせ 月山ビジターセンター

TEL 0235-62-4321 Mail visitor@bz04.plala.or.jp

環境省「令和6年度自然を活かす上質なツーリズム人材育成・地域づくり支援事業(山形県出羽三山地域)」

